

千葉県地域職業能力開発促進協議会設置要綱

1 目的

千葉労働局及び千葉県（以下「関係機関」という。）は、職業能力開発促進法（昭和44年法律第64号）第15条の規定に基づき、千葉県の区域において、地域の関係者が参画し、同法第16条第1項の規定に基づき設置する公共職業能力開発施設において実施する職業訓練（同法第15条の7第3項の規定に基づき実施する職業訓練を含む。）及び職業訓練の実施等による特定求職者の就職の支援に関する法律（平成23年法律第47号）第4条第2項に規定する認定職業訓練（両訓練を合わせて、以下「公的職業訓練」という。）を実施するに当たり、地域における人材ニーズを適切に反映した訓練コースの設定を促進するとともに、訓練効果の把握・検証を通じた訓練内容の改善等の協議を行う地域職業能力開発促進協議会を設置する。

なお、設置主体については、関係機関の両者とする。

2 名称

名称は「千葉県地域職業能力開発促進協議会」とする。

3 構成員

千葉県地域職業能力開発促進協議会（以下「協議会」という。）は、以下に掲げる者を構成員とする。（別表に掲げる職にある者）

必要に応じてオブザーバーの出席を求めることができる。

- ① 千葉労働局
- ② 千葉県
- ③ 職業訓練若しくは職業に関する教育訓練を実施する者又はその団体
- ④ 労働者団体
- ⑤ 事業主団体
- ⑥ 職業紹介事業者若しくは特定募集情報等提供事業者又はその団体
- ⑦ 学識経験者
- ⑧ その他関係機関が必要と認める者

4 ワーキンググループ

協議会は、協議事項の検討に必要なワーキンググループを設置することができる。

5 会長

- ① 協議会に会長を置き、委員の互選により選任する。
- ② 会長は、会議の議長となり、議事を整理する。
- ③ 会長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員が、その職務を代理する。

6 協議会の開催

年2回以上の開催とする。

7 協議事項

次に掲げる事項について協議する。

- ① 公的職業訓練について、地域（千葉県）の人材ニーズ及び実施状況を踏まえた訓練コースの設定に関する事。
- ② 公的職業訓練について、訓練効果の把握・検証等に関する事。
- ③ キャリアコンサルティングの機会の確保その他の職業能力の開発及び向上の促進のための取組に関する事。
- ④ 公的職業訓練の実施にあたり年度計画の策定に関する事。
- ⑤ その他必要な事項に関する事。

8 事務局

協議会の事務局は、千葉労働局職業安定部に置く。

9 その他

- ① 協議会資料及び議事録等は、協議会において申し合わせた場合を除き、公開とする。
- ② 協議会の事務に従事する者又は従事した者は、職業能力開発促進法第15条第3項の規定により、正当な理由なく、協議会の事務に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。
- ③ この要綱に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は別に定める。

10 附則

この要項は、令和4年11月10日から施行する。

(別表)

千葉県地域職業能力開発促進協議会 構成委員

団体名	職名
千葉敬愛短期大学	学長
一般社団法人 千葉県経営者協会	専務理事
千葉県中小企業団体中央会	専務理事
一般社団法人 千葉県商工会議所連合会	専務理事
千葉県商工会連合会	専務理事
日本労働組合総連合会千葉県連合会	事務局長
独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 千葉支部	支部長
一般社団法人 千葉県専修学校各種学校協会	会長
一般社団法人 全国産業人能力開発団体連合会 (株式会社 ニチイ学館 千葉支店)	正会員 (支店長)
千葉県職業能力開発協会	事務局長
敬愛大学	大学運営室長
株式会社パソナ パブリック事業部 パブリック千葉チーム	チーム長
千葉県商工労働部	部長
千葉県教育庁	教育次長
千葉労働局	局長
その他関係機関が必要と認める者	